

赤ちゃんとの 楽しいふれ愛

母と子の豊かなコミュニケーションのために

赤ちゃんとの楽しいふれ愛

母と子の豊かな
コミュニケーションのために



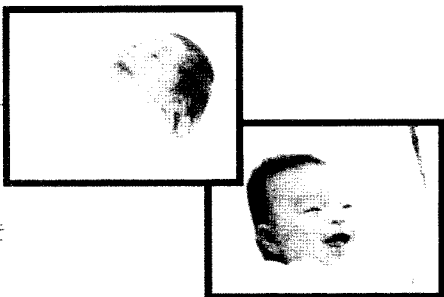
社団法人 日本助産師会



収録内容

Part 1 新生児編 18分30秒

- 妊婦健診
- 出産と産後
- 渡辺先生インタビュー
- 赤ちゃんの気持ちに寄り添う抱き
- 授乳
- 早乙女先生インタビュー



Part 2 乳児編 21分30秒

- Part2の紹介
- 赤ちゃんの力を引き出す方法
- 日常生活のコミュニケーション
- おんぶ
- ベビーマッサージ
- 大人への確認(ソーシャルレファレンシング)
- 渡辺先生インタビュー

平成19年度独立行政法人福祉医療機構
「子育て支援基金」(一般分)助成により作成しました

本編40分	ALL	4:3	片面・一層	カラー	複製または無目的による上映の禁止
		スタンダードサイズ	MPEG2	MONO	

DVD VIDEO DVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応プレーヤーで再生して下さい。

●詳しい再生機能等については、ご使用になるプレーヤーなどの取扱説明書をお読み下さい。

●おことわりこのディスク並びにパッケージに関する全ての権利は著作権者に帰属され、個人が家庭内で試聴することを目的に販売が許されています。無断でこれを複製、放送、公開上映、レンタルなどに使用することは法律で禁止されています。

●製作・発行
社団法人 日本助産師会
東京都台東区鳥越 2-12-2
TEL 03-3866-3054 FAX 03-3866-3064
http://www.midwife.or.jp/

●製作
株式会社 サングラフ



- 撮影協力
渡辺 久子
早乙女 智子
家森 百合子
左古 かず子助産師 池田 容子助産師
越山 茂代助産師 大田 祐子助産師
- 制作協力
我部山 キヨ子
菅 佐和子
菅沼 美奈子助産師 安川 裕子助産師
藤井 智子助産師



(妊婦健診の様子)

妊婦健診は、母の健康状況と児の発育状況の診断と異常の早期発見を目的に行いますが、お母さんが安心して妊娠生活を送れるような支援を行います。

赤ちゃんは、お腹にいるときから呼びかけには応えますので、人格を持つ人として話しかけることが大切です。お母さん、お父さんが妊娠中に日常的な声掛けをしている場合は、生まれた後の声掛けに敏感に反応します。また、妊娠中からの声掛けは、生まれてからの赤ちゃんとのコミュニケーションもとりやすくします。



(赤ちゃんを覗き込むお母さん)

お産後、お母さんの体が落ち着くと、赤ちゃんを飽きることなく見詰める時期があります。この時期のお母さんは、まるで巣籠もり現象のように、赤ちゃんに没頭していたい気持ちになります。このような状況を作りやすくするよう、周りの人達が助けてあげると、赤ちゃんのお世話も楽しくなり、お母さんらしい気持ちを高めることにもなります。

妊娠中歌っていた「わらべ歌」等を歌うと、赤ちゃんは「ジー」とお母さんの顔を見つめます。



(ビデオの目的について、渡辺医師のコメント)

生まれたばかりの赤ちゃんは、すぐにお母さんに出会おうとして一生懸命に働きかけ、楽しいやり取りを始めます。お母さんもひき込まれるように赤ちゃんに惚れ込み夢中になって育児をします。これは日本古来からみられた自然な姿であり、赤ちゃんの心の土台作りとなっていました。しかし、現代は安心して赤ちゃんとうっかり触れ合う環境が失われてきています。赤ちゃんとお母さんの豊かな出会いをもう一度見つめなおし、取り戻していただきたいと願っています。



(赤ちゃんの抱き方)

お腹の中から交流していても、赤ちゃんがなぜ泣くのか分からないことがしばしばあります。その様な時には、赤ちゃんを抱きしめてあげると安心して泣きやみます。赤ちゃんの気持ちに寄り添い、安全で、抱く人の負担も少ない赤ちゃんの抱き方にはいろいろあります。

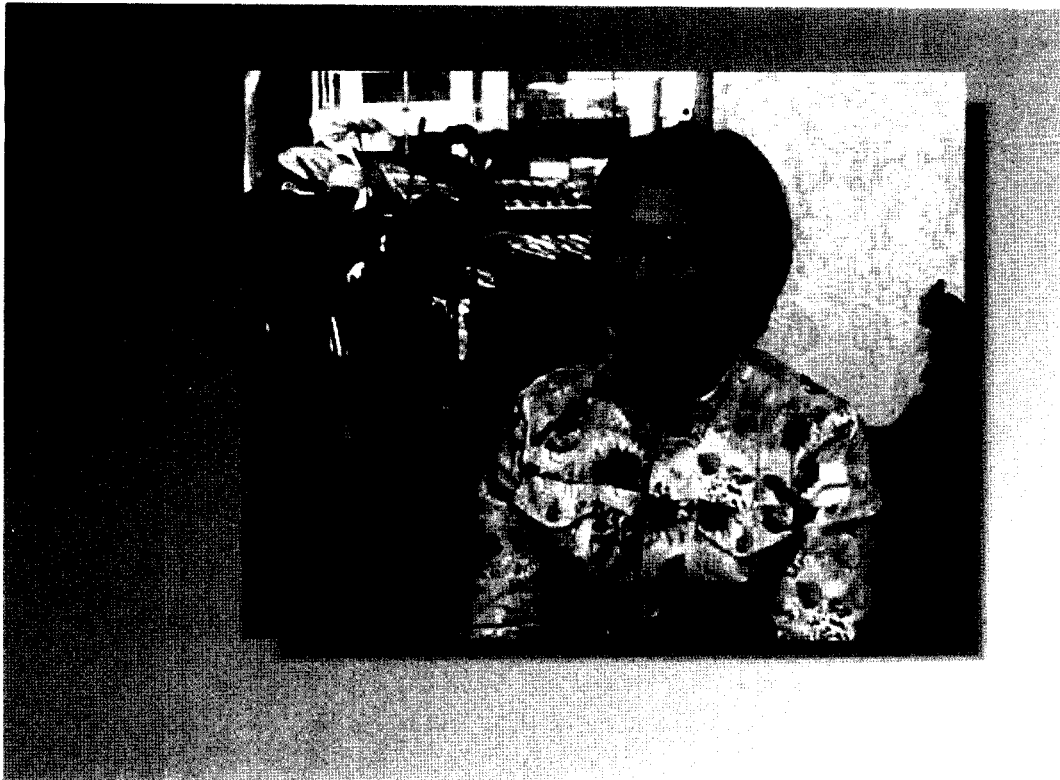
お母さんのお腹と赤ちゃんのお腹を合わせ、お母さんの心臓の音を聞いてもらえる様な抱き方をすると赤ちゃんも安心しお母さんと赤ちゃんの会話も弾みます。また、赤ちゃんは、お腹の中ではお母さんの動きと一緒に揺れていますので、揺らしてあげると安心します。抱っこは赤ちゃんとの一体感が得られる有効なコミュニケーション手段でもあります。



(授乳方法)

授乳は、赤ちゃんの生活の中心になりますが、お母さんにとっても楽しい幸せな時間であって欲しいものです。それには、ちょっとした工夫で、授乳時間をリラックス時間にすることができます。

お母さんと赤ちゃんのお腹を合わせ、赤ちゃんの耳と腰と足が一直線になるようにすると、赤ちゃんの顔の前にお乳が来るので、赤ちゃんは自分でお乳を探し始めます。大きな口をあけたら、お母さん側に引き寄せると、自分からお乳を吸い始めます。座布団やクッションを使ってお母さんが楽な姿勢を保ったり、疲れたときや夜などは、寝たまま飲ますこともできます。



(産科医として早乙女医師のコメント)

人間は、本来哺乳動物です。女性として月経をみたり、妊娠したり出産したり授乳したりすることも、一連の流れは女性に与えられた特権のようなものです。赤ちゃんにおっぱいをあげることは、栄養だけでなく、愛情であり、つながりであったりします。また、コミュニケーションをとる機会にもなりますが、お母さんにとっても大きなメリットとなります。特に妊娠中からの赤ちゃんとのコミュニケーションを図ることは、生まれた後のコミュニケーションをスムーズにすることにつながります。妊娠中から体の準備をし、女性として与えられた身体の仕組みを活かして自分らしい出産や授乳をし、子どもとの生活を楽しんでいただきたい。